

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 産業教育・キャリア教育担当
 内線: 6764 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P23	工業高校と地域による未来共創プロジェクト事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	令和 7年度～ 令和 9年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール 4	
					分野施策	0501	確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット 4-3, 4-4	
1 事業概要 地域における産業界等と高校が有機的に連携することにより、最新技術や企業のDX化への流れに対応できる専門教育を実践し、地域産業を担う人材を持続的に育成する。 持続可能な未来共創プロジェクト 見込みが下回ったこと等による減額 △3,254千円			5 事業説明 (1) 事業内容 持続可能な未来共創プロジェクト 20,024千円 → 16,770千円 先導校及び拠点校にコーディネーターの配置及びコンソーシアムを設置し、地域における産業界等と工業高校の持続的な連携体制を確立することで、産業界等と連携したカリキュラムを学校が開発し実践する。 (2) 事業計画 ア 先導校(1校)、拠点校(4校)にコーディネーターを配置 【役割】・コンソーシアムの設置及び運営 ・コンソーシアムで決定した方向性を踏まえた企業・団体等の新規開拓及びマッチング ・地域との連携に係る教員への指導助言 イ 先導校、拠点校にコンソーシアムを設置 【役割】・学校と産業界等との持続的な連携体制の確立 ・地域のニーズを把握し、学校における取組の方向性決定 ウ 産業界等と連携した取組の実施 ・教員実技研修、講演会、カリキュラム開発、小中学校との連携 (3) 事業効果 地域の産業界等と高校が有機的に連携し、最新技術や企業のDXへの流れに対応できる専門教育が実践され、地域産業を担う人材が持続的に育成される。 【活動指標(アウトプット)】 コーディネーター配置5人、コンソーシアム開催12回×5地域 【成果指標(アウトカム)】 大学進学者のうち工業系大学への進学率 74% 就職者のうち工業関連企業への就職率 74% (4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 コーディネーターに民間人材を起用するとともに、コンソーシアムの設置に向け、地域の産業界等と連携する。 (5) 補正予算の概要 見込みが下回ったこと等による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,254						△3,254	16,770	
現計額	20,024						20,024		

事業内訳書

事業名	工業高校と地域による未来共創プロジェクト事業		
単位事業名	持続可能な未来共創プロジェクト	予算額	△ 3,254千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△3,254	—	
合計	△3,254	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△2,350	—	見込みが下回ったことによる報償費の減
旅費	△136	—	節約等による旅費の減
需用費	△768	—	節約等による消耗品費の減
合計	△3,254	—	